

備前市事務事業評価表

事務事業名	河川維持管理事業（吉永）		コード	担当課係	吉永総合支所産業建設課管理係
			01-03-01-06	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	災害に強いまちづくり			
	小項目	河川改修・砂防施設整備			
	施策	市管理河川の改修整備			

事業について	
目的	河川の適正な管理により周辺及び下流域の安全性の維持を図る。
対象（誰のために）	周辺及び下流域住民
内容	吉永地域内9河川愛護団体への草刈等管理委託、及び1箇所の維持修繕工事の実施。H18年度からは河川愛護団体のおかやまアダプトへの移行により管理委託は廃止。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
草刈等管理委託団体	9 団体			
維持修繕工事	1 箇所			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,248	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,335	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,583	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.30	人			
結果指標名	草刈等管理委託団体数				
結果指標量	9				
単位	団体				
対前年比	0.00%				
事業費	1,938,000	円			
単位当たりコスト①	215,333	円			

結果指標名	維持修繕工事箇所				
結果指標量	1				
単位	箇所				
対前年比	0.00%				
事業費	1,645,000	円			
単位当たりコスト②	1,645,000	円			

事業の成果			
成果指標名	維持修繕工事箇所数	式又は説明	維持管理のため目標値の設定はできない。
成果指標量	17年度		
対前年比	1		0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	災害等の未然防止のため財政的に許される限り積極的に実施すべきである。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	河川愛護団体からおかやまアダプトへの移行	H18	委託料の廃止
有効性	単発的でない計画的河川改修	早期	管理経費及び災害対策、復旧費の縮減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

従来は小河川の管理は地元の出会い仕事等で行われていたと思われるが、中山間部に於いては近年、過疎、高齢化により、地元での管理が困難になってきているため、市の事業実施の要望が強い。

河川愛護団体からおかやまアダプトへ移行した。

特に事故もなく目的はおおむね達成できた。